



こうか
まちかど特派員



きくち しげみ
菊池 滋美

バリアフリーで気軽に外食

私は、体に障がいを持っています。これまでの特派員のページでは、自身の体験を基に、スーパーで従業員のほうが、車いすのお客さんの買い物を手助けしてくださるサービスや、市内「コミュニティバスと電車を利用しての外出の様子をレポートしました。市内には、このような大型店舗や公共交通機関、公共施設以外にも、バリアフリー設備の整ったところがあります。



▲段差がない廊下と部屋の間

水口町の和食のお店です。お店の方のお話によると、お寿司を買いに来るお客さんが、「外食をしたいけど、ごこの店も階段や段差が多くて入れない」と言っておられたことがあるので、店舗を改装される時、「法事の時などに家族が集まってもらいやすいお店になれば」と、建築士さんに相談し、バリアフリーにされたそうです。

「敷地や建物面積の都合で、出入口や玄関、車いす対応のトイレに段差ができてしまいましたが、お客様にはご不便をおかけしています。できる限りのお手伝いをさせていただきます。」と話を結ばれていました。



家族や少人数で会食を楽しんでもらえるテーブル・椅子席の部屋があります。エレベーターで2階に上がると、お座敷になっていますが、座ることが困難な方には、テーブルと椅子を準備していただけます。

甲南町のランチとケーキのお店です。以前から、町内の障がい者授産施設の行事などに行ったり、聴覚に障がいを持たれた方と出会う機会があったオーナーさん。店舗を現在の場所に移転された時、「バリアフリーの設備を整えて、だれでも気軽に来てほしい」と思われたそうです。

私は、取材当日、杖を使って歩いて移動したのですが、車いす利用者用駐車スペースがあり、出入口の所が緩やかなスロープになっているので、スムーズに歩くことができました。トイレは、車いすで入ることができず。そして、最大の魅力は、店内から段差なくテラスに出られることです。

オーナーさんに、「細かい所まで配慮されていますね」とたずねると、「私も少しずつ足腰が弱くなってきていると思います。だから、バリアフリーの方が動きやすいです」と微笑んでおられました。



▲扉が中へ入り込むトイレ

2つのお店取材の際、とても親切に対応していただきました。これもバリアフリーの一つだと思っています。

最近、外出する中でいろいろなところでバリアフリーが整いつつあることを実感します。今後ますますこうした設備が増え、だれもが気軽に外出できる社会になることを願っています。

